

2019年度 第2四半期 決算説明会資料

TOYO
東洋機械金属株式会社

2019年10月25日

証券コード
6210

目次

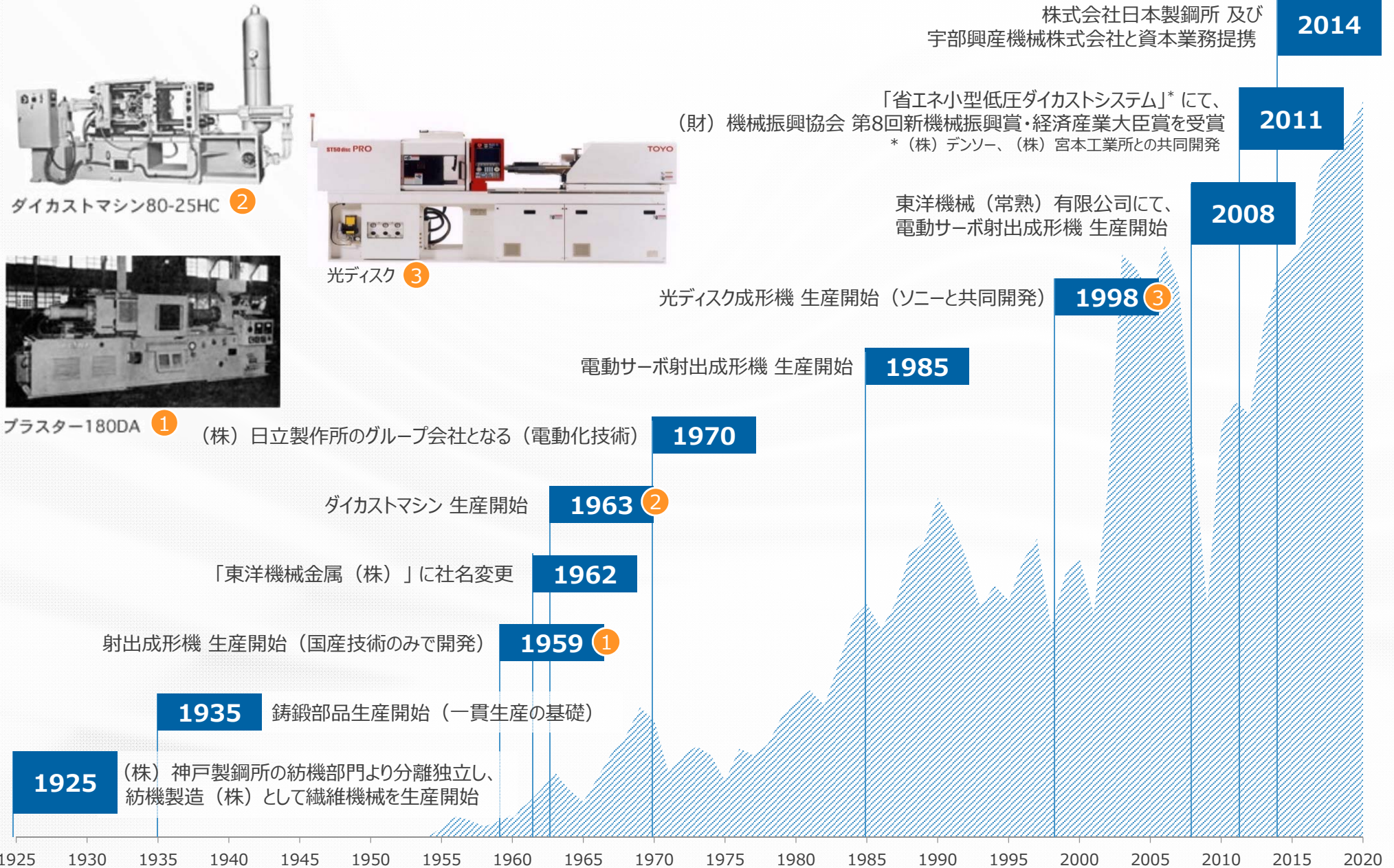
1. 会社概要	2
2. 2019年度第2四半期 決算概要	5
3. 2019年度通期 決算予想	12
4. SDGsへの貢献	23
5. <Appendix>	25

会社概要

会社概要

商号	東洋機械金属株式会社 TOYO MACHINERY & METAL CO.,LTD.
創業	1925（大正14）年5月16日
資本金	25億円（東証第一部）
代表者	代表取締役社長 田畑 禎章（Tabata Yoshiaki）
従業員数	767名（2019年9月連結）
営業品目	プラスチック射出成形機・関連商品 ダイカストマシン及び周辺自動機・関連商品
本社・工場	兵庫県明石市二見町福里523-1
URL	http://www.toyo-mm.co.jp/

会社沿革



2019年度第2四半期 決算概要

2019年度第2四半期 決算実績

受注は減少したが豊富な注残から、売上高は国内・アジア・欧米で増加し、前年をクリア
 売上が増加したことにより、営業利益・経常利益は増加し、前年をクリア

項目 単位：百万円	2018/2Q 実績	2019/2Q 実績	前年同期比 増減	前年同期比 増減率	2019/2Q 計画	計画比
受注高	16,819	13,344	△3,475	△20.7%	15,000	△1,656
売上高	15,541	17,038	+1,497	+9.6%	16,000	+1,038
営業利益	960	1,093	133	+13.9%	1,100	△7
営業利益率	6.2%	6.4%	0.2P	—	6.9%	△0.5P
経常利益	996	1,091	+95	+9.5%	1,100	△9
親会社株主に帰 属する四半期純 利益	619	652	+33	+5.5%	640	+12
1株当たり 四半期純利益	32.86円	32.09円	△0.77円	—	31.13円	+0.96
<参考> 為替レート (USD)	114円	108円	△6円	—	110円	△2円

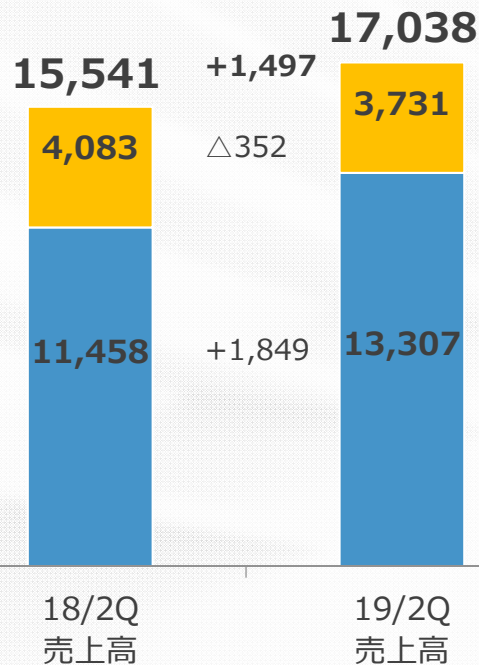
売上高・営業利益の増減要因分析

売上高は、射出成型機は伸長、ダイカストマシンは減少。
 営業利益は、射出成型機の販売台数増により、増加。

売上高

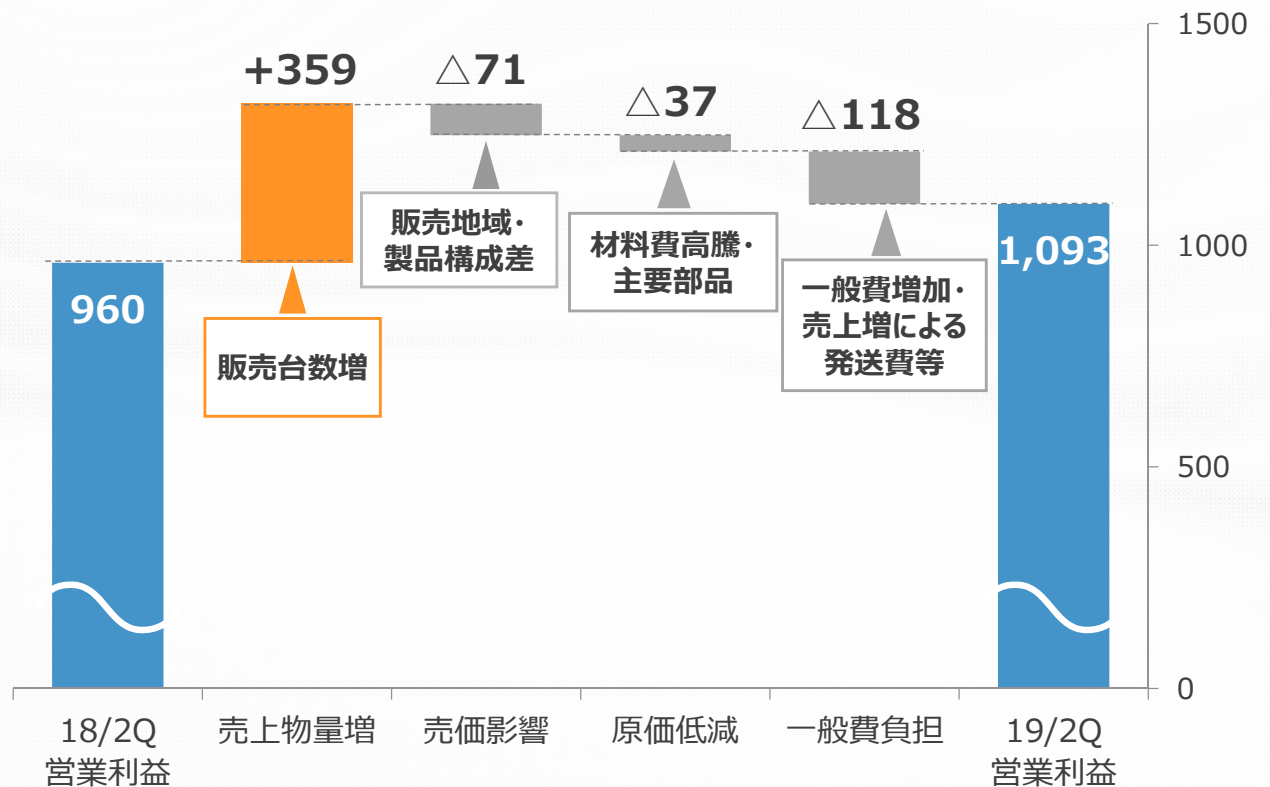
(単位：百万円)

- 射出成型機
- ダイカストマシン



営業利益増減要因分析

(単位：百万円)



製品別受注高・売上高・受注残高

受注高は133億円（前年同期比△35億円）、受注残高は75億円（前年同期比△57億円）

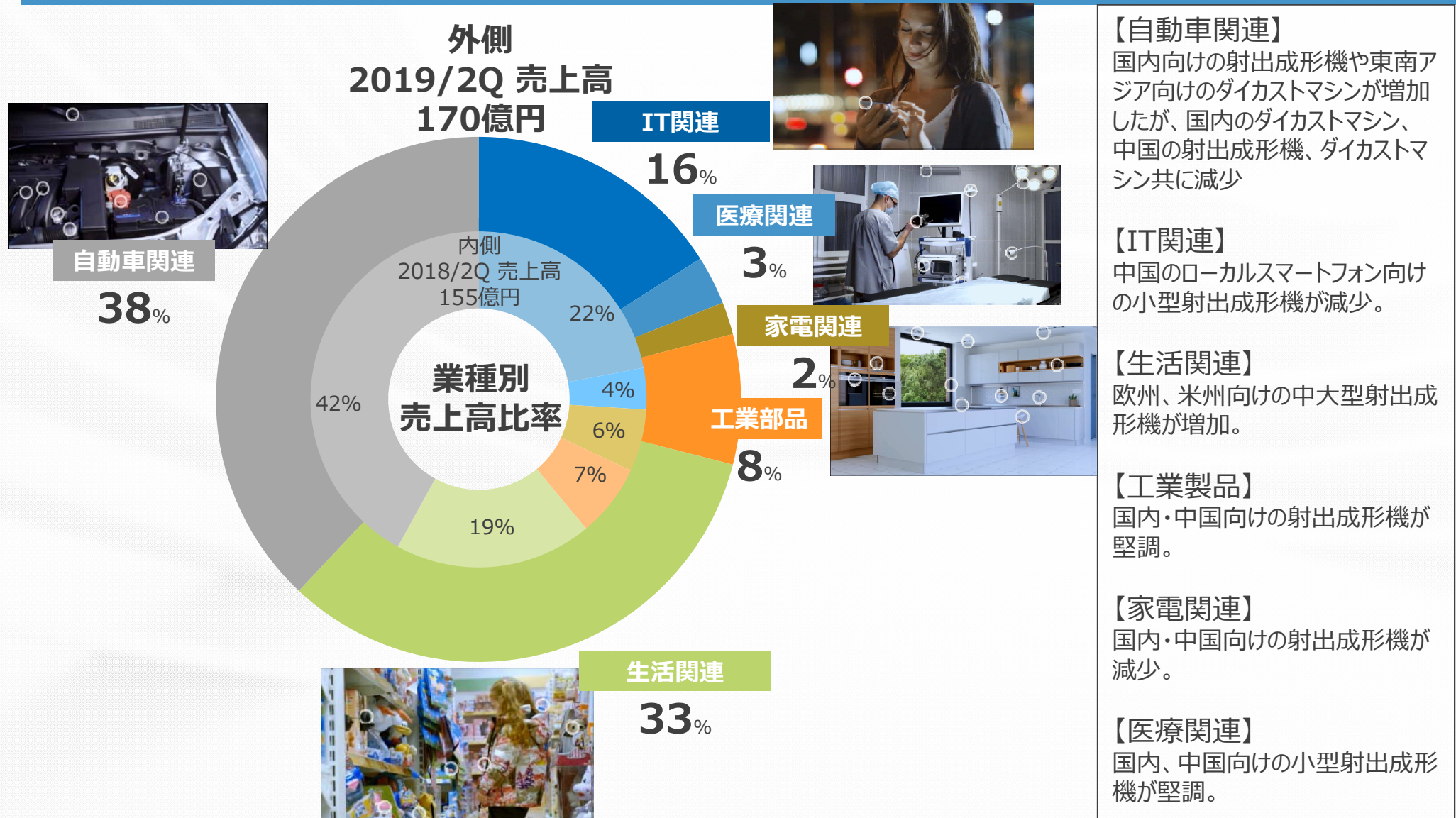
射出成形機 (単位:百万円)	2018/2Q 実績	構成比	2019/2Q 実績	構成比	増減	増減率
受注高	12,004	71%	10,746	81%	△1,258	△10.5%
(内、海外)	(7,655)	(64%)	(6,934)	(65%)	(△721)	△9.4%
売上高	11,458	74%	13,307	78%	+1,849	+16.1%
(内、海外)	(7,712)	(67%)	(8,692)	(65%)	(+980)	△12.7%
受注残高	10,169	77%	5,873	78%	△4,296	△42.2%

ダイカストマシン (単位:百万円)	2018/2Q 実績	構成比	2019/2Q 実績	構成比	増減	増減率
受注高	4,815	29%	2,598	19%	△2,217	△46.0%
(内、海外)	(3,409)	(71%)	(1,203)	(46%)	(△2,206)	△64.7%
売上高	4,083	26%	3,731	22%	△352	△8.6%
(内、海外)	(2,503)	(61%)	(2,517)	(67%)	(+14)	+0.6%
受注残高	3,037	23%	1,660	22%	△1,377	△45.3%

※構成比の欄は受注高、売上高、受注残高における射出成形機とダイカストマシンの構成比。それぞれの海外比率を括弧書き表記しています。

業種別売上高の動向

生活関連向けの射出成形機が堅調に推移し、
売上高構成比33%まで上昇



【自動車関連】

国内向けの射出成形機や東南アジア向けのダイカストマシンが増加したが、国内のダイカストマシン、中国の射出成形機、ダイカストマシン共に減少

【IT関連】

中国のローカルスマートフォン向けの小型射出成形機が減少。

【生活関連】

欧州、米州向けの中大型射出成形機が増加。

【工業製品】

国内・中国向けの射出成形機が堅調。

【家電関連】

国内・中国向けの射出成形機が減少。

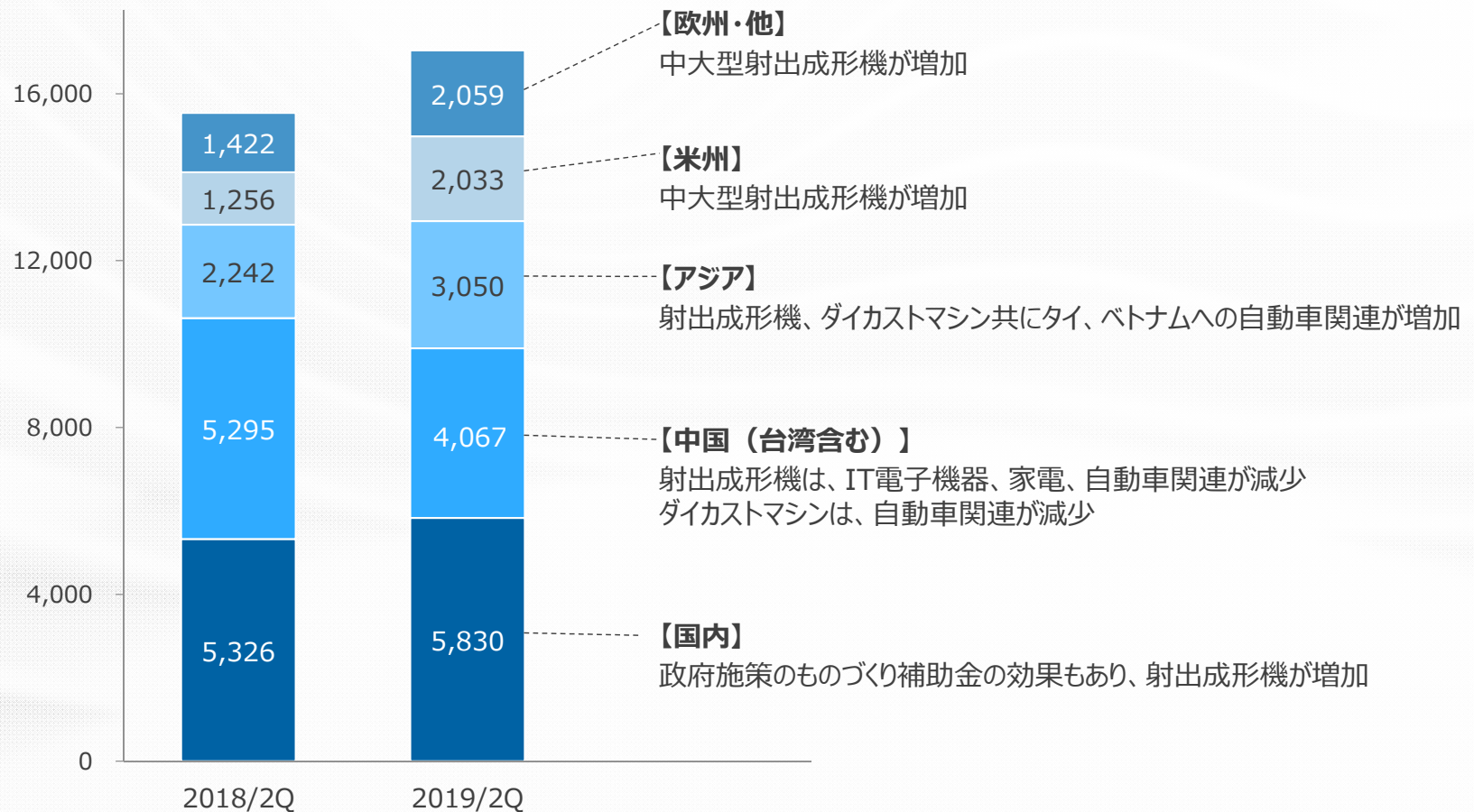
【医療関連】

国内、中国向けの小型射出成形機が堅調。

地域別売上高の動向

国内、アジア、米州、欧州・他向けは増加したが、中国向けが2桁減少

地域別売上高推移 (単位:百万円)



主要取引先との関係強化と設備投資資金の調達

第三者割当による自己株式の処分を実施

払 込 期 日	2019年4月17日（水）		
処分する株式の種類及び数	普通株式 1,700,000株		
処 分 価 額	1株につき603円		
調 達 資 金 の 額	1,025,100,000円		
処 分 先	株式会社マルカ	アメリカとアジアに23拠点、60年以上の海外取引を活かした国際ネットワークを有する商社	600,000株
	株式会社山善	生産財・住設建材・家庭機器の3つの事業領域における専門商社	600,000株
	第一実業株式会社	製造・販売・サービス一帯のソリューション力を活かし、多様化するニーズに先行して応え続ける専門商社	400,000株
	安田工業株式会社	世界最高峰の超高精度の工作機械の開発に取り組んでいる。当社製品に搭載する主要部品の切削・研磨を行っている。	100,000株
そ の 他	本自己株式処分については、金融商品取引法に基づく届け出の効力発生を条件としております。		

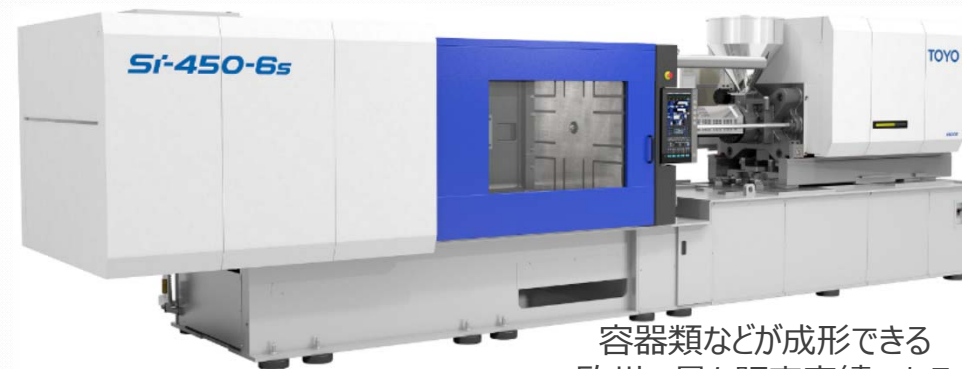
欧州代理店との資本提携による関係強化

欧州代理店の株式を取得

取 得 日	2019年7月4日（木）
取得した株式の会社名	GM-Injection AG（100%子会社は、R.P. Injection S.r.l.）
取得した株式の数	154株（発行済株式の30.2%）
取 得 価 額	4,530,000EUR（551百万円）
株式を取得した理由	R.P. Injection S.r.l.（以下、RP社）は、イタリアを中心に欧州全域に成形機の販売で強い立場を確保しており、また技術スタッフが数十年にわたり成形機ビジネスに係わってきたことから、高い技術力を持っています。当社とRP社とは2007年に電動射出成形機の欧州での独占販売契約を締結し、イタリア以外にもポーランドやスペインなどにも販売網を広げ、現在までに当社の射出成形機を累計900台以上（直近3年間で400台以上）販売しています。今後、RP社とは、技術面からも交流を深め、欧州での販売拡大を見込む。



調印式 スイス・チューリッヒにて



容器類などが成形できる
欧州で最も販売実績のある
Si-450-6S

2019年度通期 決算予想

2019年度通期 決算予想

下半期も受注が減少することが見込まれる
営業利益は、売上物量減少及び生産操業度の低下により、減少する見込み

項目 単位：百万円	2018年度 実績	2019年度 今回予想	前期比 増減	前期比 増減率	2019年度 当初予想	当初 予想比
受注高	31,079	26,000	△5,079	△16.3%	31,000	△16.1%
売上高	31,780	30,900	△880	△2.8%	32,000	△3.4%
営業利益	2,054	1,550	△504	△24.5%	2,200	△29.5%
営業利益率	6.5%	5.0%	△1.5P	—	6.9%	—
経常利益	2,137	1,520	△617	△28.9%	2,200	△30.9%
親会社株主に 帰属する当期純 利益	1,344	930	△414	△30.8%	1,350	△31.1%
1株当たり 当期純利益	71.30円	45.72円	△25.58円	△35.9%	65.66円	△30.4%
<参考> 為替レート (USD)	111円	108円	△3円	—	110円	—

製品別 受注高・売上高・受注残高予想

受注高は260億円（前期比△51億円）、売上高は309億円（前期比△9億円）
受注残高は63億円（前期比△49億円）を予想

射出成形機 (単位:百万円)	2018年度 実績	構成比	2019年度 予想	構成比	増減	増減率
受注高	22,013	71%	21,000	81%	△1,013	△4.6%
(内、海外)	(13,923)	(63%)	(13,400)	(64%)	△523	△3.8%
売上高	22,732	72%	24,400	79%	+1,668	+7.3%
(内、海外)	(14,853)	(65%)	(15,700)	(64%)	+847	+5.7%
受注残高	8,902	79%	5,034	80%	△3,868	△43.5%

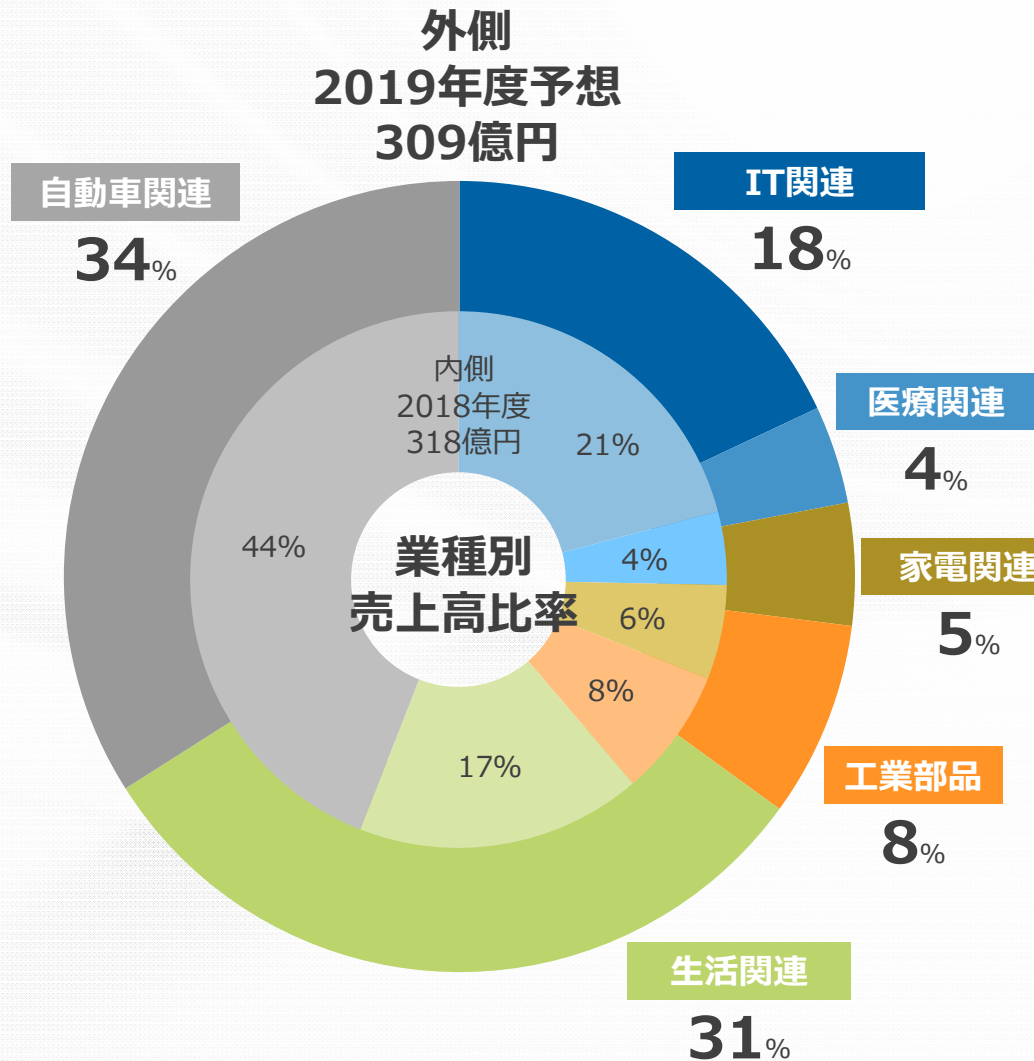
ダイカストマシン (単位:百万円)	2018年度 実績	構成比	2019年度 予想	構成比	増減	増減率
受注高	9,066	29%	5,000	19%	△4,066	△44.8%
(内、海外)	(6,327)	(70%)	(2,300)	(46%)	△4,027	△63.6%
売上高	9,047	28%	6,500	21%	△2,567	△28.2%
(内、海外)	(6,002)	(66%)	(3,700)	(57%)	△2,302	△38.4%
受注残高	2,324	21%	1,293	20%	△1,031	△44.4%

※構成比の欄は受注高、売上高、受注残高における射出成形機とダイカストマシンの構成比。それぞれの海外比率を括弧書き表記しています。

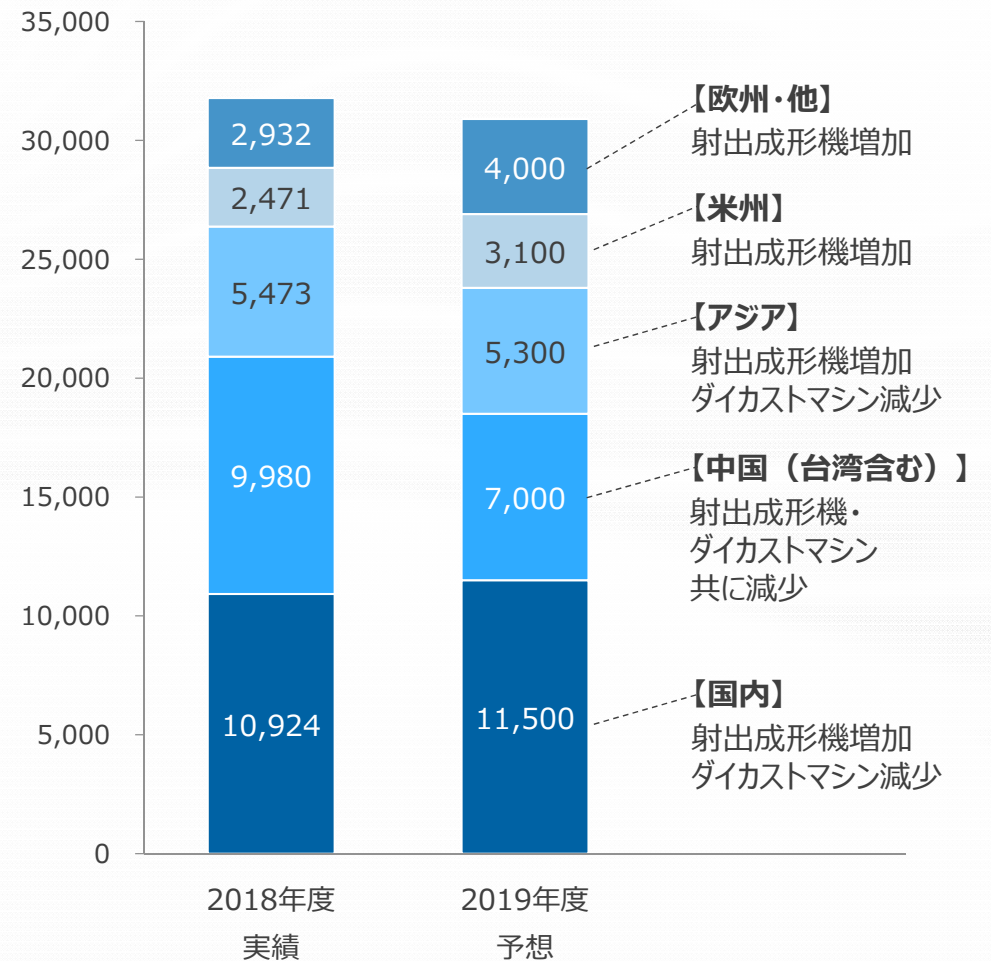
業種別・地域別 売上高予想

中国の自動車関連向けが減少

業種別売上高構成予想



地域別売上高予想



創業100周年（2025年）に向けた企業像

VISION

顧客に役立つモノづくりを行い、
事業を通じて社会の進歩発展に貢献する

成形機専門メーカーとして
業界や地域社会に対して存在感を示し、
信頼・期待される企業を目指す

射出成形機

ダイカストマシン

Customer's Value Up

中期経営計画

「TOYO Great Global Plan 2020」

独自技術開発

持続的発展

グローバル戦略の発展と
構造改革



顧客価値創造型製品群の
市場投入

注力業界と製品分野の動向

グローバル成長エリア・市場に注力し、技術対応を推進

ターゲット市場	顧客ニーズ	日本	中国	アジア	欧米	技術対応
情報端末 5G対応	高精度・薄肉 5Gバックカバー対応	○	◎	○		ハイレスポンス・射出圧縮
自動車 電動・自動運転 CASE化対応	EV化（二次電池、 センサー、カメラ等）	◎	◎	○	○	顧客ニーズに対応するカスタマイズ提案
	軽量化・薄肉化 （内装部品）	◎	◎	○	○	物理発泡成形
	環境・省エネ・ 生産性向上	◎	◎	○	◎	電動式ダイカストマシン
食品・医療	クリーンな製造現場	◎	○		◎	電動機によるダウンサイジング
その他市場	成形品生産の歩留 まり向上	◎	○	○	◎	SAG+α II ガス抑制スクリー
	IoT対応	◎	◎	◎	◎	T-Station Lite Ver.2、T-Remote

課題と施策

米中貿易摩擦の影響により、成形機業界の需要が減少

課題

売上高は過達も、受注が減少している状況

生産量減少によるコスト高が懸念される

本社・明石工場

- ・需要は減少傾向
- ・将来に備えた増産対応による投資は継続

中国・常熟工場

- ・中国での地産地消をベースに拡大
- ・電子タバコの普及で射出成形機の需要は堅調

受注の確保、シェアUP

営業力の強化

- ・ 販社との連携強化で主要顧客への集中営業展開
- ・ アジア新興国の需要(自動車・生活・医療)開拓
アジア開拓部設置・インド事務所を支店に格上げ
ベトナム現地法人開設(2020年)

利益を確保

自社の強みを活かしながら、利益を確保

顧客ニーズに対応した開発型メーカー
カスタマイズ対応型ビジネスでの利益創出

技術力の強化

- ・ 顧客との新規開発テーマの創出
- ・ 大学等との共同研究
- ・ 次世代機種の開発(IPF2020に出展)

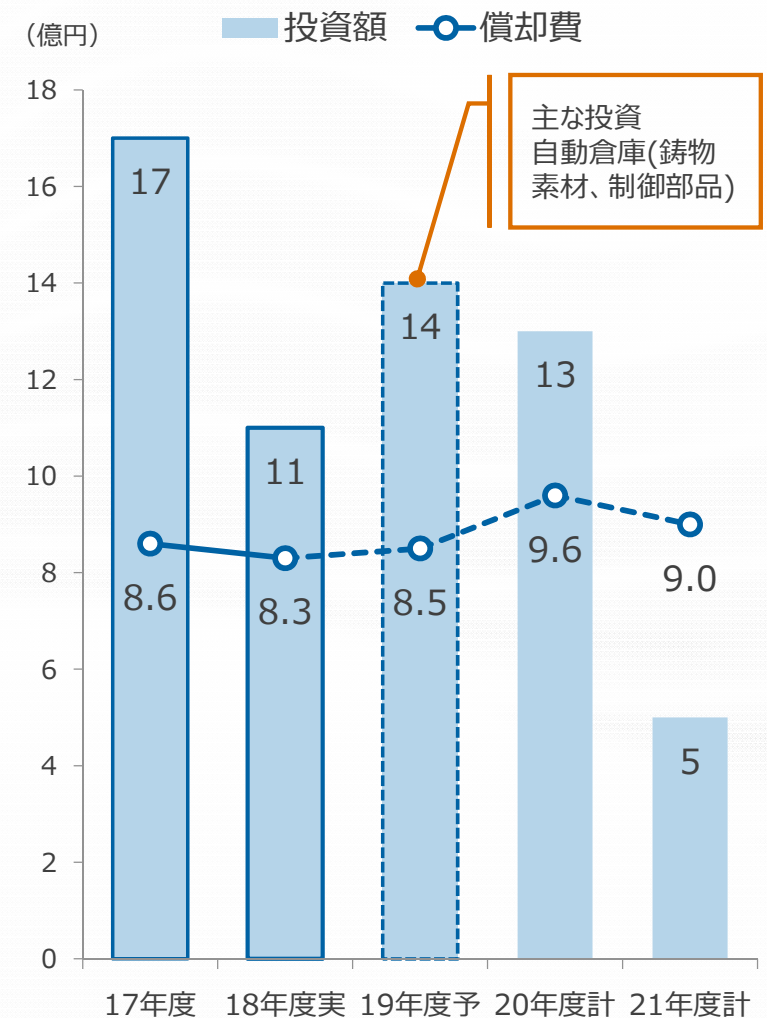
多品種生産を維持しながら

- ・ 部材の共通化
- ・ 機構部品の汎用化
- ・ 新自動倉庫による部品管理
- ・ 新組立工場による中大型機種での作り込みへの取り組み

設備投資・減価償却費

本社工場の生産設備を拡張

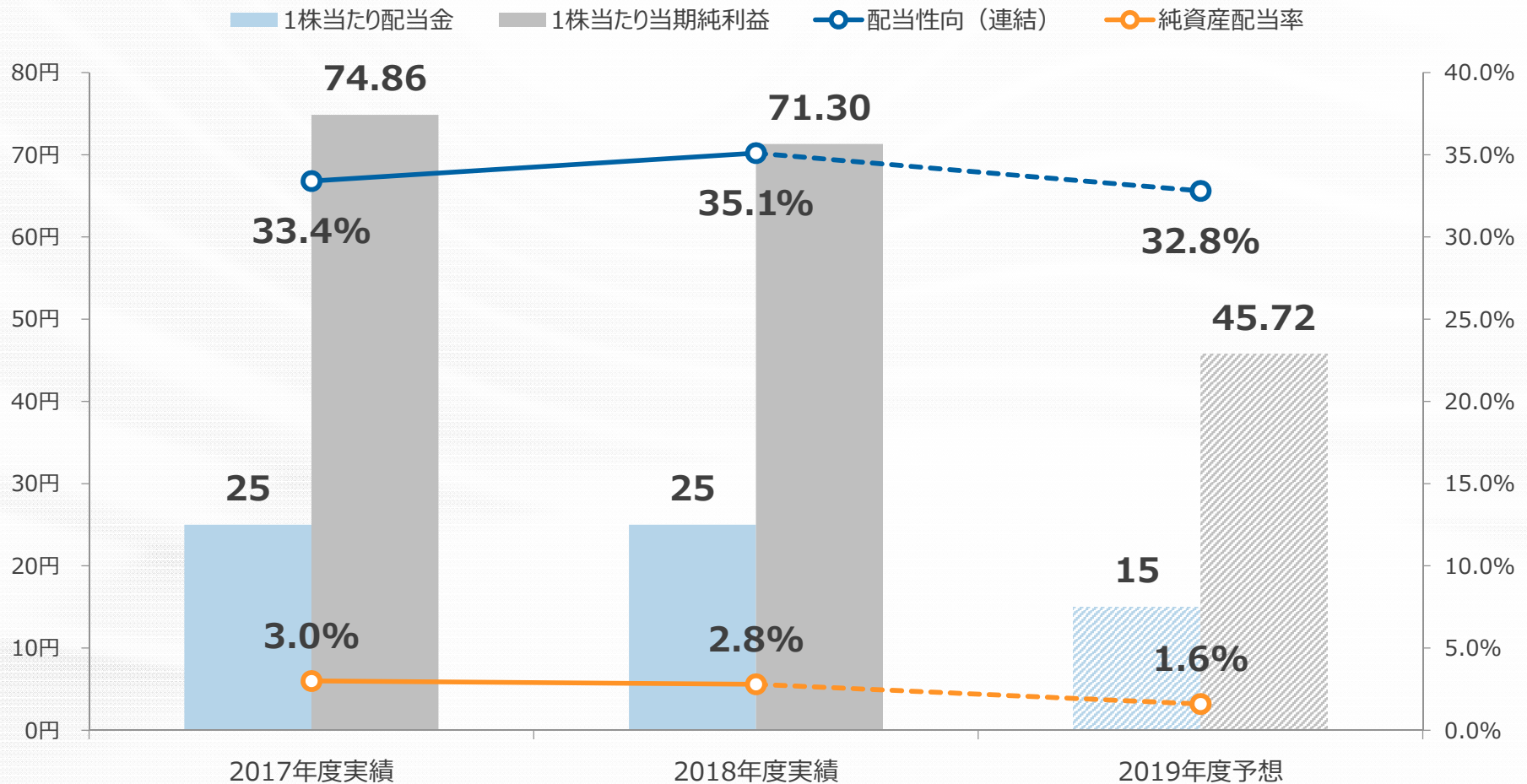
主な設備投資計画内容（2018年度～2021年度）	総投資額
建屋	25億円
中大型組立工場増設（2020/6 完成予定）	
自動倉庫新築(素材、制御、中大型組立)（19/5完成）	
サービスセンター新築	
その他現有資産維持投資	
工作機械	12億円
自動加工 マシニングセンター 2台(1台20/4完成予定) ターニングセンター	
汎用加工 長尺NC旋盤（2018/11 完成）	
製缶 複合タレパン加工機（2019/2完成）	
システム	3億円
主な設備投資計画総額	40億円



株主還元について

2019年度中間は、1株につき10円の配当を実施
2019年度期末は、1株につき5円の配当を予定

1株当たりの配当金・当期純利益、配当性向、純資産配当率



射出成形機 展示会情報



- ◆ 展示会 Kショー2019
- ◆ 会 期 10月16日 (水) ~ 10月23日 (水)
- ◆ 会 場 ドイツ・デュッセルドルフ・トレードフェアセンター
- ◆ 公式サイト <http://www.k-online.com/>

展示・実演で、当社の成形技術をアピール



容器高速成形

Si-100-6S 200E



冷却期間を有効活用した
2型相互成形による生産性向上

Si-280-6S J370E

SDGsへの貢献

SDGsへの貢献

SDGsへの貢献に向けた活動を推進

ダイカストマシンの電動化

- 駆動オイルの使用削減
- クリーン対応
- 省エネ・環境対応



高効率射出成形機の開発

- 製品不良の削減
- 樹脂製品の薄肉化
- 電気自動車の普及貢献



ガバナンス体制の強化推進

- リスク管理の充実
- コンプライアンスの徹底



経営基盤の強靱化

- 労働生産性の向上
- 活気ある働きやすい職場作り
- ステークホルダーとの良好な関係を継続



Appendix

貸借対照表 (B/S)

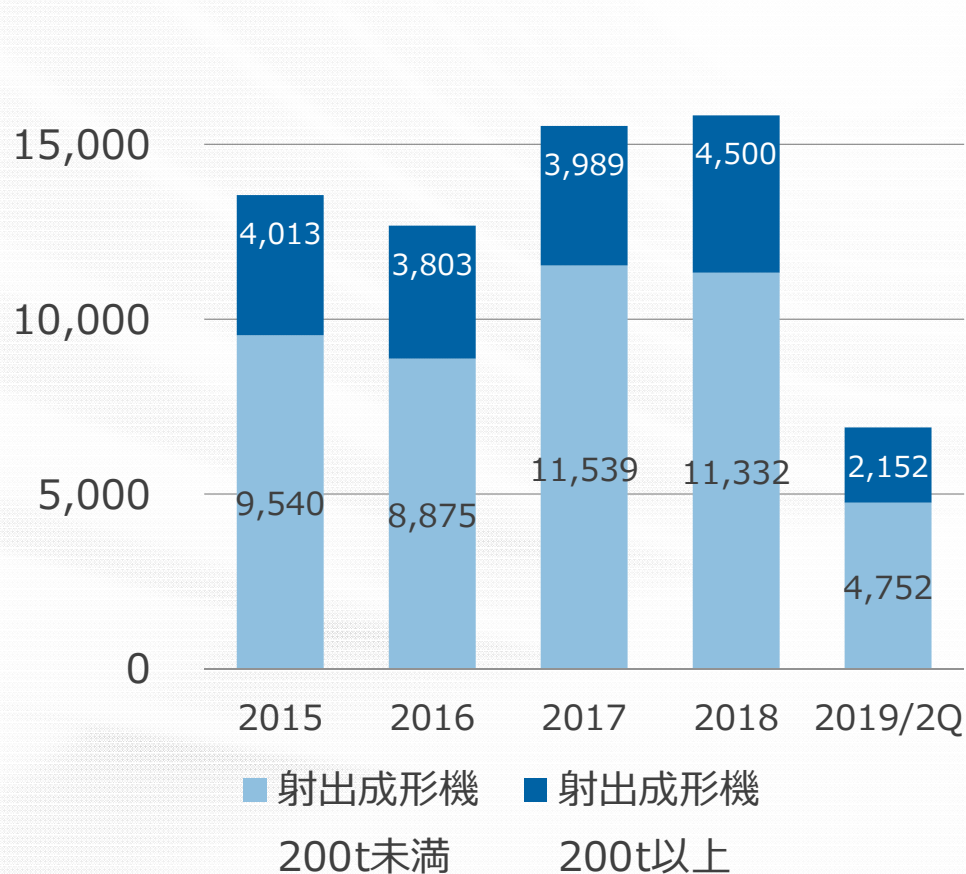
資産の部	2018年度 実績	2019/2Q 実績	増減	コメント
流動資産	21,030	20,591	△439	受取手形及び売掛金は15億円増加したものの、現金及び預金、棚卸資産の減少により、流動資産は4億円減少。
現金及び預金	5,613	4,863	△750	
受取手形及び売掛金	7,265	8,856	+1,591	
棚卸資産	6,644	6,102	△542	
固定資産	8,050	8,794	+744	GM-Injection AGの株式取得による投資有価証券の増加により、固定資産は7億円増加。
有形固定資産	6,544	6,696	+152	
無形固定資産	565	591	+26	
投資その他資産	940	1,507	+567	
資産合計	29,080	29,386	+306	

負債・純資産の部	2018年度 実績	2019/2Q 実績	増減	コメント
負債合計	12,041	10,962	△1,079	買掛金等の仕入債務は4億円減少し、借入金の返済が進み有利子負債残高が1億円減少したこと等により、負債合計は10億円減少。
支払手形及び買掛金	5,530	5,136	△394	
有利子負債残高	1,300	1,200	△100	
純資産合計	17,038	18,423	+1,385	親会社株主に帰属する当期純利益の利益剰余金や自己株式の処分による資本剰余金の増加により、13億円が寄与。自己資本比率は前期57.7%から61.7%となった。
負債純資産合計	29,080	29,386	+306	

事業環境の概要

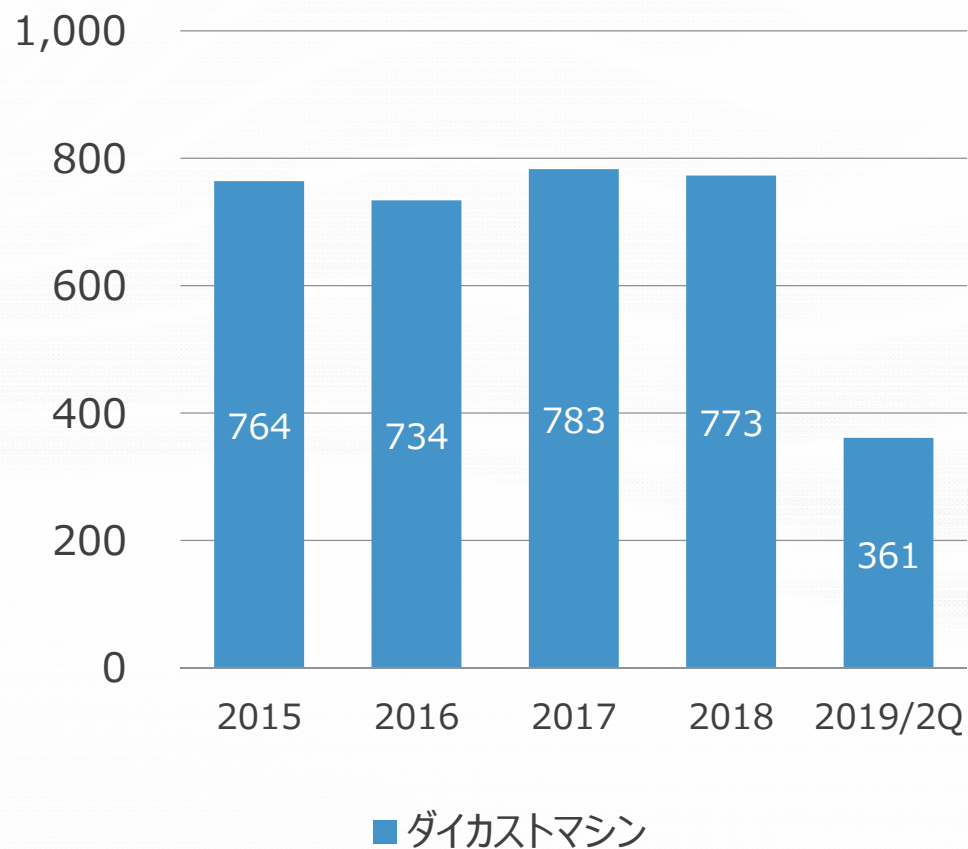
業界の射出成形機とダイカストマシンの出荷台数

射出成形機出荷台数



出典：日本産業機械工業会

ダイカストマシン出荷台数



出典：日本ダイカストマシン工業会

本資料に記載している将来の見通しに関する記載は、当社が現時点で把握可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後のさまざまな要因の変化によって見通しと大きく異なる場合があります。

TOYO

Customer's Value Up

連絡先 東洋機械金属株式会社 経営企画室

TEL. (078) 942-2345 (代表)

FAX. (078) 943-7275

URL. <http://www.toyo-mm.co.jp>